

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし 県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1479-1-103

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp

vol.13

2022年7月

令和4年6月定例会 一般質問



通級指導教室について

「通級指導教室が足りない。我が子が進学する予定の中学校に通級がないので、なんとかならないか？」という相談を受けます。教育現場は懸命に対策を行っておりますが、増え続ける特別支援教育の需要に対して、追いついていないのが現状です。この件については、県に限らず、市や町の議会でも教員や教室の確保について多くの質問が出ておりますが、住民が納得行く体制まで至っていない、もどかしい現状があります。

今回の質問では、佐賀県議会では初めて、通級指導教室を含めた特別支援教育とインクルーシブ教育のあり方について「指導の質」について質問を行いました。

○通級指導教室について

特に小学校から中学校に進学する際、その中学校に通級指導教室が設置されていない場合が多くあります。各学校での設置、自治体を越えた運用や、教員の巡回指導など、柔軟な対応を県に求めました。

また、保護者や教員から話を聞くと

「通常学級の中にも、通級の指導を受けた方が、その子の成長にとって効果的な場合があるのではないか？」

「通級が自分の学校にないから、やむを得ず特別支援学級を利用している子がいるのではないか？」

という疑問があり「県と市町での需要把握のミスマッチ」について質問しました。

○「指導の質」について

特別支援学級が年々増加しており、教室や教員が足りない現状があります。インクルーシブ教育を実現していくためには、教員が障害の有無に関わらず、指導できる力量を持たなければ、根本的な解決は出来ないと考えます。そこで「特別支援学級と通常教室の教員を入れ替えて、全ての教員が更なるスキルアップ向上を行うことで、将来的に障害の有無に関わらず、誰にでも対応できる教育体制を構築すべきではないか？」と質問しました。国も対策に乗り出していることから、このもどかしい状況について、今後の佐賀県の対応に強く期待致します。

分身ロボットの活用について

佐賀大学附属病院の小児病棟である「こどもセンター」には、佐賀県唯一の院内学級が開設されております。しかし、入院が長期化することから、元在籍していた学校の友人達とは疎遠になってしまいます。そこで、分身ロボットを活用して、病室から教室で授業を受け、友達と交流することで、子供達の孤独に寄り添うことはできないのかと質問し、課題はありますが前向きな答弁がありました。

その他にも、民間や他県で実施されている分身ロボットの障害者就労への活用について前向きな答弁がありました。



〇ワクチン接種記録の保存期間延長について

基本的にワクチン接種記録の保存期間は5年となっていますが、万が一将来、身体に不調が現れた際、しっかりと救済措置が行われるためにも、コロナワクチンの接種記録の保存期間を延長すべきと質問をしました。県からは「ある程度長期間に渡り、接種記録を保存することには意味があると考える。」と答弁がありました。

〇カスタマーハラスメントについて

コロナ禍において、企業や小売店等で、接客時に悪質なクレームや理不尽な要求などの迷惑行為である「カスタマーハラスメント」が社会問題化しております。国も対策に乗り出していることから、佐賀県としても、企業マニュアルの周知や、11月からセミナー開催を行うという答弁がありました。県には働きやすい環境づくりに向けた対策を求めました。

活動報告写真

4月

佐賀バルナーズ観戦



©SAGABALLOONERS/PHOTO:Masafumi Ono

佐賀県議会の有志で、プロバスケットボールチーム「佐賀バルナーズ」の試合を観戦。試合展開の速さと会場の盛り上がりにより圧倒されながら楽しい時間を過ごしました。

コロナ感染



コロナに感染し、10日間の自宅療養。最初の3日は高熱で家族が完全ダウンしたため、佐賀県からの食料支援に助けられました。その後は回復し、家で療養期間を過ごしました。

サガン鳥栖観戦



こちらも佐賀県議会の有志で観戦。コロナ禍での制限はありますが、スタジアムの熱気は最高です。早く満席で応援したいです。

5月

6月

水影天神社作り揚がり願成就



素晴らしい天気にも恵まれました。今年も無事に祭典が終わり、地域の安寧と五穀豊穡を祈りました。

スポーツイベント



マイナースポーツイベントに参加。誰でも簡単に楽しめるスポーツが身近にあると、より楽しめますね。

佐賀県保護観察所視察



所長と意見交換をさせていただきました。平成29年4月に施行された「佐賀県犯罪被害者等支援条例」の現状などをお尋ねしました。

佐賀大学附属病院の院内学級視察



院内学級の現状や、分身ロボット活用の可能性について、医師と意見交換を行い、議会質問を行いました。

あとかき

4月は新しい生活リズムがスタート。5月はコロナに感染し、復帰後一気に6月議会に突入し、3回も質問の機会をいただきました。そして参議院選挙。この3ヶ月はほんの一瞬で過ぎ去り、そして選挙も終え、国も新たな局面になりました。安倍元首相への銃撃は許されませんが、良くも悪くも常識として守られていたものが、無理矢理剥がされる。そんな序章を感じました。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwAn> 討議資料